

学習用端末に係るトラブルについて

1人に1台ずつ学習用端末が配られ、みなさんもインターネットを利用する機会が増えてきたのではないのでしょうか。欲しい情報をすぐに入手できるなど便利な反面、使用方法を誤ると、さまざまなトラブルの原因になります。

トラブルと、その危険性

<p>①他人になりすまして、他の友だちの悪口を書き込む</p>  <p>A男@××× B男うざい！ 学校くるな！</p> <p>いじめやけんかなどに発展することがあります。また、他人のID・パスワードを使ってアクセスすると、犯罪行為となります。</p>	<p>②撮影禁止場所で友だちととった写真をSNSに投稿</p>  <p>C子 @××× 美術館 来たよ！</p> <p>自分や友だちの個人の特定につながる可能性があります。また、投稿を見た人から非難のコメントが集まる可能性があります。</p>	<p>③災害時に、誤った情報を拡散してしまう</p>  <p>レスキュー隊のような服を着た窃盗グループが被災地に入っています。犯人の車のナンバーは●●-●● #拡散希望</p> <p>早く拡散しないと！</p> <p>誤った情報が広まり、被災地の人たちが混乱してしまう可能性があります。</p>
<p>④インターネットの長時間利用が習慣になってしまう</p>  <p>睡眠時間がけずられて、健康や成長に悪影響が出たり、授業に集中できずに成績が下がったりすることがあります。</p>	<p>⑤インターネット上の著作物を無断で使用</p>  <p>この写真いいなあ。SNSのアイコンに使おう！</p> <p>D子 @×××</p> <p>他者の著作物を無断で使用すると、著作権の侵害になり、場合によっては罪に問われることもあります。</p>	<p>⑥あやしいメールやメッセージをつい開いてしまう</p>  <p>端末がウイルスに感染したり、個人情報盗まれたりする可能性があります。</p>

上記のようなトラブルに巻き込まれる危険性を減らすための対応策の例

- 他人から推測されづらいパスワードを設定する（サービスごとに異なるパスワードを使う）
- 他人にID・パスワードを教えない、他人のID・パスワードは絶対に使わない
- 施設などで撮影するときは、事前にその場所が撮影禁止になっていないか確認する
- 撮影する際、また撮影した写真や動画をSNSなどに投稿する際は、必ず対象者の許可を得る
- 投稿する前、自分や友人の個人につながる情報がないか確認する
- 他人に見られても大丈夫なもの、将来的にデータが残っても大丈夫なものしか投稿しない
- 正しいかどうか分からない情報は拡散しない
- インターネットを使って情報を集めるときは、情報の提供元が信用できるか、古い情報ではないかを確認する（確認できない場合、信用しない）
- 学校や家庭でインターネット利用に関するルールを作る
- 作成した人の許可なく、著作物を使用しない
- あやしいメールやメッセージは開かず削除する



不適切な端末の利用は、いじめや各種トラブルに結びつくことがあるため、自身の利用状況を見直してみてください。